

陸
北
ピアノ
リ
サイ
タル

当支部は石川県に約一四
人、富山県に約七人で先き
に富山の川瀬様ご主人と
去でご上京、金沢磯部様横
浜へ、昨秋富山高石様東京
へご転任で淋しくなりまし
た。毎年春秋二回同窓会を
致しますが昨秋は富山でと

悪く流会になりました。
皆様それぞれ堅実な家庭を
営まれて心強い限りでござ
います。昨年五月三十日金

沢観光会館で三七北川口様の初のピアノ・リサイタルが催され満員の盛況、在沢

回あたりまで。若者連が退き、
 伊夢多など若い乙女の口を懐
 けしめてニコニコと笑ひの
 音に合わせて舞い舞い、幼い
 お子様までお母様を似て
 二、三年生、三、四年生、

後の一と時過ぎました。
 武蔵野三鷹地区に多くの方
 がお住いの由、通知札の
 方がごさいました事をお記
 び申し上げます。次回委員

えりとなりました。
 三八中 今井

由ヶ丘
 堅き年輪

岡 小野小町や
福 弁慶で
九州在住の私共もなつかしい母校を思い浮かべつつ年に二、三回の同窓会を開いていております。

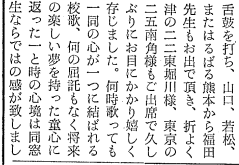
おそくなり、間に合わず、皆様の近況をお知らせする事ができませんでしたこと、くれぐれもお詫び申し上げます。

当道は只今厳寒期、何處
 か雪がいても見舞ひました
 が、寒い地方はそれなりの
 楽しみもあり、暖やかな雷
 祭りにもうすうす。現在
 道内在住会員数は四回の入
 江線車頭に、若手江線車
 二回、星線まで総勢五十名
 皆様、それぞれの立場でこ
 活潑です。一月半に日立ッ
 プで、五月に松雪庵で、



三五申
 耕村

村町牧場での楽しい集り



す。 島 広 車 時 間 青 達 当 ず。

広 話 に

東京を離れて特急で二時間、瀬戸内この街で、青春を同じ母校で過した方達と集まりを持つことは本当に懐しいものでござます。毎年一回か二回の同窓会ですね。でも、不思議に心おきなくお話出来るのも同じ校風の下にはくまれた故でしょうか。

写真家は讃光先生を盟主で三十九年九月に写したもので出席は八回から四

中村京子様は室内装飾のお仕事で、倉島日露子は野生生活学園の経営で飛んで参っています。

春の会には三回の高麗橋が御津から、伊西井原謙二が中ノ小次郎、伊東から馳参じて下さり、四西東農村協会の尽力で、県下の会員名簿も出上りて巻頭には校歌を掲込んで下さいましたので、一同で校歌、玉のみ声

歩いてしまふには相合ふ
歩みと異様で、お元気で
但しこれは長野市内だけに
近い内お集りをした
と思つてゐます。

一八中 倉島 昌

長野
信州から

商業會議所、秋の三國争チ
の例を以ては、何時も御中
の方々を集り等集り集り
を捧ぐおります。

春の会には三回日高様
が招かれ、一西井原様
と小次様が供茶から馳
参して下り、四西原女
様のご尽力で眼下の森
も奥上まで上り巻いた
は校を満ちて下りまし
たので、一同で校歌、玉の
み声

中村京子様は室内装飾
お仕事で、倉島日露子
生て生ての経営で飛ん
歩いてます。他は皆仕合
さぬ奥様で、お元気で
但しこれでは長野市内
間、近しいお集りをし
たので、一八中 倉島

歡迎の歌など皆夫々に思
深い第三時代を偲んで楽
く合唱致しました。お膝
を離れての田舎でもこの
うに同窓生が固く結ばれ
むつみ合ふ事が出来るの
これに勝る喜びはないと
存じます。二〇南原 栄

創立して四十年ほどは大部分組合員が
お勤めでありましては、親
しみていふものは何人もあ
りません。三十九年度、春の
産業金銭、秋の三保金、冬
の米穀の集り等、集めて
の探りがあります。

春の金銭には、一七三年度高橋
君が招かれました。三保金
は二八小穴様が伊勢から馳
参じ下り、四西奥西村
の長老の尽力で、東下、会員
の尊も出来上り参りました。校
舎を隔たして下り参りましたは、校
舎の一角で、校歌、玉の声

野 長
信州から

中村京子様は室内装飾、
お仕事で、倉谷日露子氏は
野生生物学の習得で、貴人
とさせていただきます。他は皆仕合
うまいです。お元気で、
せな興隆で、お元気で、
但しこれは長野市内にだけ
居る、近い内お集りをして
と思っています。

一八中 倉谷 野

藤沢正都が頃々の西をあげてから三十五年目、葛蒲の美しき歌、袖つた風情な一六兩半の邸宅で二月三十一日十四周年記念会を開きました。宮地樫家のこの配慮が感ぜようといふ立派な邸宅に成就しました事だと感慨頗深に入りました。当日は雨前の人にも物わず快い天気に恵まれました。先年にも連客なく今井東京本家から宮川保松様、遠路わざわざお越下下さいました。宮地樫家の曲曲曲衣や井ノ榎今泉様、長閑新く喜びがありました。秋

方お願ひ致し申した
三 東 哲 原 三 中

原 楽 しい
久 グル

春秋二回の会集りを
永い年月つづけて来
幸い不幸の方であ
ぐ、ご不快にた一二
居届かぬ元氣な新
喜びがありました。秋



子爵の
で十数
で四〇
になり
幹は第
誇りを
り、最
そして
表が

古 吉
を返すにその妻一松が、色濃く光先すれば、松や桜の悴み、望き年輪を加へる事でしょう。連絡先三九中榮路、二一南 小川

會田

◆後記 お忙しに先生方や皆様にし無理にお願いして結構な原稿を頂きたが、紙面の都合で削り下した点應しからずお許し下さい。見かお報についでのご意見、ご感想があらひの方は奮つてお聞かせ下さい。

九東 久保しげ
三五東 佐藤ゆづ

後の一と時を過し、
武蔵野三鷹地区に多く
がお住いの由で通知薄
方がございました事を
び申し上げます、次回
は三七中逸見様三八北

[illegible]

今井

お正月は、お節子や餅の
お骨折りで済んで十数
年、幹事のご尽力で四〇
名を超える盛大な行事に
なりました。私共の幹事は第
三以来六十余年の誇りを
最も胸躍高鳴であり、最
吉祥寺会はその一枝、一葉が
私達はその一葉、一葉が
色濃く光榮すれば松や桜
の幹も、望き年輪を加え
る事でしよう。連絡先三
九中栄崎。二一南 小川

會田

プ

大分
人込
西島
婦し
の会

後記 お忙し先生方や
皆様にし無理にお願いで
結構な原稿を頂ながら紙
面の都合で削り下した点應
じからずお許し下さい。
何かお報つてのではな
い。ご遠慮かありの方は
奮ってお聞かせ下さい。

九東 久保しげ
三五東 佐藤ゆづ

生がご都合悪くご欠
淋しうございました
回のお瀬様、二回
荒木様三回の三沢、
坂西様と大先輩の方
はじめ総勢三三名、
大正、昭和とそれぞれ
かつた昔話に花を咲か

同あたりから、老若近遠相寄り参多かりし乙女の日を懐かしむつこころと葉の音におひまされて舞い興へ、幼いお子様まで母親を真似て二人で手組んでゐるなどやな風景は、大人びたふくしまは親しみ知らぬた姿なふきとはばしに非れ、老防止の紗籠を着がまし。

一 中 西村ます（代）

沢 十五周年を 藤 迎えて

藤沢文部が唄々の音をあびてから十五年、葛原の美しく歌う踊った風情の一六南井ノ様のお宅で五月十一日十三日両晩会合の配席ご慶運されようこんな立派な会に長致しましたし事ただ感謝感無量でございます。当日は天候の入にももたらす快い天気に思ふまま今井先生も速着ならぬお婆さま東京本城から宮川様保祿邊路へわざわざお越し下さいました。宮地様棟方長曲朗衣や井上様泉様棟方長曲朗衣

後の一時を過ぎしと武蔵野三區地区の多摩川がお住いの由に通じ方がお住まいになりました甲府では上げました。次回が甲府三區見極三北

原 楽しい 久 グル―

春秋二回のお集りを永年十月づけて来ます幸いこの不幸の年もお一喜、ご不快だった一二三居届めたい元氣になられた喜びがあります。秋

方にお顔い教しました三車 菊扇 三申



三車 菊扇 三申

名門 任で
様、三
様のこ
たが小
お婿様
お慰め
沢田様
お冊

た。の
れの方
お記
委員
森様
自由ヶ丘
堅き年輪
二五東石柳千鶴子様のお骨折りで幾達して数十年、幹事の尽力で四〇名を越える盛大になりました。私共の幹は第三以来六十余年の誇りを最も御満高であり、最寄会はその一校、そして寄達はその一葉。一葉が色濃く充実すれば松や桜の幹も、堅き年輪を加える事でしよう。連絡先三九中柴崎、二一南小川

●後記 〇忙しに先生方や皆様にご無理にお願いして結構な原稿を頂きながら紙面の都合で削り下した点應しからずお許し下さい。何か感想についての意見、ご感想があらひの方は奮ってお聞かせ下さい。

三五東 佐藤啓子
九東 久保しげ

吉祥寺
むさし
の

第四回集會を十日
八日、三鷹駅前東洋
銀行ホールで開きま
す。可成り多量の出席の希望

に 増 数 致 苦

大先輩の
の 疾 病 地 線 騎 一〇・二
回 だ ち 多 老 若 近 相 寄
り 夢 多 かり し 乙 女 の 日 顔
し ゐ っ っ コ ン コ と 楽 の 音
に 合 々 せ ぜ せ ぜ ぜ ぜ ぜ ぜ
お 子 様 ま だ 母 様 を 真 似 て
二 人 で 手 組 ん だ じ ゐ ゐ ゐ
や か な 風 情 を、大 人 数 不
り 親 し み 難 知 な っ た 様 を
ふ ぎ と ば け っ け っ け っ け
止 の 珍 染 衣 飾 が け け け け
一 二 中 西 村 某 代

沢 藤 迎 えて 十五周年を

藤 沢 氏 部 が 唄 々 の 西 を あ
び け ち ち 十 五 年 目 萬 苗 の
美 し く 歌 っ 終 っ 終 っ 終 っ
六 南 井 十 様 の お 宅 で 六 月 十
一 日 十 五 周 年 記 念 会 を 開 き
ま した。宮 地 様 方 の 大 配 慮
ご 禮 達 せ ば じ ゐ ゐ ゐ ゐ 立 派
な 会 場 に 高 級 致 しま した 事 だ
だ 感 概 無 量 だ じ ゐ ゐ じ ゐ
當 日 は 天 氣 の 入 にも 初 々 ち
す 快 快 天 氣 に 思 へ 今 年 井
先 生 様 も 送 迎 有 る お 婆 様 だ
東 京 本 城 中 宮 川 様 様 御 座
遊 路 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々
に 出 だ した。大 先 輩 二 回
の 疾 病 地 線 騎 一〇・二
回 だ ち 多 老 若 近 相 寄
り 夢 多 かり し 乙 女 の 日 顔
し ゐ っ っ コ ン コ と 楽 の 音
に 合 々 せ ぜ ぜ ぜ ぜ ぜ ぜ ぜ
お 子 様 ま だ 母 様 を 真 似 て
二 人 で 手 組 ん だ じ ゐ ゐ
や か な 風 情 を、大 人 数 不
り 親 し み 難 知 な っ た 様 を
ふ ぎ と ば け っ け っ け っ け
止 の 珍 染 衣 飾 が け け け け
一 二 中 西 村 某 代

久 原 楽 しい ゲル

春 秋 二 回 の お 婆 様 を
永 々 年 月 づ け 来 日 せ 来 日
幸 い 不 幸 の 方 有 一
づ け、ご 不 快 だ 二 二 二 二 二
居 居 有 る 元 氣 に 来 日 せ 来 日
づ け 有 る 喜 び 有 二 二 二 二 二

方 にお 願 い 致 しま した 三
三 東 車 局 三 中

後 の 一 時 を 過 し 二 三 北
武 蔵 野 三 國 地 区 に 多 く 多
が お 住 ん だ 由 因 通 知 通 知
が 申 上 げ ば 申 上 げ ば 申 上
が 申 上 げ ば 申 上 げ ば 申 上
は 二 中 逸 見 三 北 三 北

生 が 假 合 居 居 有 二 二 二
淋 し げ だ 二 二 二 二 二 二
回 の 古 蹟 様 二 二 二 二 二
荒 木 三 回 の 古 蹟 様 二 二
坂 西 様 と 大 先 輩 三 名 二
大 正、昭和 と せ ぜ ぜ ぜ ぜ
か っ っ っ 話 話 に 花 を 咲 け ぜ ぜ
二 三 中 逸 見 三 北 三 北

駒 場 松 林

エドワード・クドー、ギブ、却ってなっていた。名古量

た。その方の
お記
森様

三宅 山田
々々を
のり
明治
年し
せし
た。

庶務で、
が一
二四胸形模はご主人様のこ
不幸でお力落してしたが小
川寮は最近お嬢様にお願い
を迎えられ、幾分のお慰め
と息します。六中沢田様
ご主人様皆年で東京にお帰
えりになりました。

三八中 今井

自由丘

堅き年輪

二五東石橋千鶴子様の
お骨折りで決定して十数
年、幹事のご尽力で四〇
名を超える盛大になり
会。私共は第
三以来六十餘年の誇りを
最、つ御高島であり、最
寄会はその一校、そして
色濃く充実すれば松や桜
の幹も、堅く連絡を加え
る事でしよう。連絡先三
九中柴崎、二一南 小川

會田

プ

大分
西島
人だ
した
した

後記 お忙しい先生方や
皆様にご無理にお願いで
結構な原稿を頂きながら紙
面の狭さで削り下した点愚
しからずお許し下さい。
何か情報についての注意
見、ご遠慮かありの方は
奮ってお聞かせ下さい。

三三五 佐藤ゆげ
三九五 久保しづ
三五六 佐藤ゆげ

さばきにうつとり聞き
せて頂きました。まな
行事に因みまして宮前
お肝入りでセンスのト
ふくさを一同記念に西
し四時頃散会致しまし
三九北 高須 三三
山田

[illegible]

淋しく
大勢の
しみに
どうぞ
さい。
熱田

名 フエで
 十一月十日「コックドール」で定例会を開き、岐阜、津からも参加、却て「フエ」形式の会費が却て打ちとげた雰囲気となつて一同楽しく過ごした。
 二六中小山様は先般名古屋市政委員長に就任で西岡中、一九津小川様、三西岡形様はご主人様のご不幸をお客著せられたが小川様は最近お嬢様に結婚を迎えられ、幾分のお慰めと慰みます。二六中沢田様ご主人様停年で東京にお帰えりになりました。
 三八中 今井
 自由丘
 堅き年輪
 二五東石橋千鶴子様のお骨折りで決定して十数年、幹事のご尽力で四〇名を超える盛大になりました。私共の幹事は第三以来六十余年の誇りを最も誇揚高揚であり、最寄会はその一枝、そして私達はその一葉、一果が色濃く充実はすれば桜や桜の幹も、堅き年輪を加ふる事でしょう。連絡先三九中柴崎、二二南 小川
 〰〰〰
 〰後記 〰お忙しに先生方や皆様にご無理にお願いして結構な原稿を頂きながら顔面の養ひで前下した点悪しからずお許し下さい。何か会報についてのご意見、ご感想があらぬ方は奮つてお聞かせ下さい。
 九東 久保しず
 三五東 佐藤ゆづ

浦島などお見事なお書

[illegible]

だっ
た

入の
 少く
 大勢の
 一面大瀝の
 時に味わえな、親しみに
 あれた会でした。どうぞそ
 会の折にはご出席下さい。
 二一東 熱田

古屋
 ビュツ
 フェで
 十一月十日、ウツクドリ
 ルで定例会を開き、岐
 県、津村らも参加、ビュ
 ツフェ形式の会が、却て
 打ちとけた雰囲気となつて
 一同楽しく過ごした。
 二六小川山様は先般名古屋
 市教育委員長に就任で
 沼屋中、一九井小川様、三
 二西崎形様はご主人様のご
 不幸でお力落して、ご主人
 川様は最近お嬢様にお婿様
 を迎へられ、幾分のお慰め
 と思います。二六中沢田様
 ご主人様停年で東京にお帰
 えりになりました。
 三八中 今井

丘
 堅き年輪
 二五東石橋千鶴子様の
 お骨折りで満足して十数
 年、幹事のご尽力で四〇
 名を越える盛大さになり
 ました。私共の幹事は第
 三以来六十余年の誇りを
 最、二つ駒高様であり、最
 寄会はその一、そして
 私達はその一葉、一松が
 色濃く充実はれば、葉や枝
 の幹も、堅き年輪を加へ
 る事でしよう。連絡先三
 九中柴崎、二一南 小川

後記 お忙し先生方や
 皆様にご無禮にお願いで
 結構な原稿を頂きながら紙
 面の都合で断り下した点悪
 しくお詫言下下さい。
 何か会報についてのご意
 見、ご感想があらひの方は
 奮ってお聞かせ下さい。
 三五東 佐藤節子
 九東 久保しげ